研究課題名	緑内障チューブシャント手術の治療成績
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学　准教授　近間　泰一郎
研究期間	許可日　～　2026 年　12 月　31 日

対象者

2019 年 1 月から 2026 年 12 月の間に、広島大学病院眼科で緑内障チューブシャント手術を受けられた患者さん

意義・目的

難治性緑内障に対するチューブシャント手術は有効な治療方法と考えられています。緑内障チューブシャント手術特有の合併症に角膜内皮障害やチューブ露出が挙げられますが、その機序やリスク因子、予防方法はまだ不明です。本研究はチューブシャント手術を行った患者さんの角膜内皮障害やチューブ露出率を検討することを目的とします。

方法

本研究は，診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は視力、眼圧、病型、年齢、角膜内皮数、視野、使用点眼数、前房フレア値です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

共同研究機関

なし（本学のみの研究ため外部への情報提供はありません）

利用または提供を開始する予定日：本学における実施許可日（2022 年 6 月 23 日）

試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学　准教授　近間　泰一郎

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551　広島市南区霞 1-2-3
Ｔｅｌ：082-257-5247
広島大学病院 眼科　　職名　医師　　小松　香織